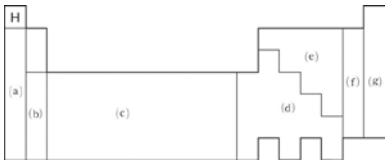
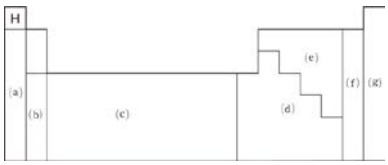
「Navi＆トレーニング 化学基礎」の訂正について

本書には，次のところに誤りがございます。深くお詫び申し上げますと共に，下記のように訂正の上，ご使用いただきますようお願いいたします。

㈱新興出版社啓林館編集部

ページ	箇　所	誤	正
24	①の表	Ka^+	K^+
26	周期表	「$_{113}$Nh」，「$_{115}$Mc」，「$_{117}$Ts」，「$_{118}$Og」を追加	
27	基本問題３		 ※新元素を含めた形に修正
39	基本問題３(5)	塩素イオン	塩化物イオン
47	標準例題 解説の(1)	$\frac{1.2\,\mathrm{L}}{22.4\,\mathrm{L/mol}}=0.500\,\mathrm{mol}$ この質量が 2.40 g なので，モル質量は， $\frac{2.40\,\mathrm{g}}{0.500\,\mathrm{mol}}=48.0\,\mathrm{g/mol}$	$\frac{1.12\,\mathrm{L}}{22.4\,\mathrm{L/mol}}=0.0500\,\mathrm{mol}$ この質量が 2.40 g なので，モル質量は， $\frac{2.40\,\mathrm{g}}{0.0500\,\mathrm{mol}}=48.0\,\mathrm{g/mol}$
57	標準問題２ 問題文 ４～５行目	2.5 mol/L 硫酸 10 mL に亜鉛 0.65 g を入れたところ，一方の物質が反応せずに残った。20%硫酸の密度を1.2 g/mL として，	20%の硫酸 10 mL に亜鉛 0.65 g を入れたところ，一方の物質が反応せずに残った。20%の硫酸の密度を1.2 g/mL として，
別冊解答編			
18	21節の１の解答(3)	メタン，0.8g	メタン，0.80g
	21節の１の解法(3) ※後半は有効数字２桁への修正	酸素 11.2 L の体積は，(中略) 反応後 0.05 0 0.25 0.50（単位：mol） メタン0.05 mol の質量は， 0.05 mol×16 g/mol＝0.8 g	酸素 11.2 L の物質量は，(中略) 反応後 0.050 0 0.25 0.50（単位：mol） メタン0.050 mol の質量は， 0.050 mol×16 g/mol＝0.80 g
	21節の２の解答(2)	硫酸，1.5g	硫酸，1.4g
	21節の２の解法(1)	2.5 mol/L 硫酸 10 mL に含まれている硫酸 H_2SO_4 の物質量は， $2.5\mathrm{mol/L}\times\frac{10}{1000}\mathrm{L}=0.025\mathrm{mol}$	20%の硫酸 10 mL に含まれている硫酸 H_2SO_4 の物質量は，密度 1.2 g/mL より， H_2SO_4 の質量：$10\,\mathrm{mL}\times1.2\,\mathrm{g/mL}\times\frac{20}{100}=2.4\mathrm{g}$ H_2SO_4 の物質量：$\frac{2.4\mathrm{g}}{98\mathrm{g/mol}}\fallingdotseq0.024\mathrm{mol}$
	21節の２の解法(2) 表以降	H_2SO_4 + Zn ⟶ $ZnSO_4$ + H_2 反応前 0.025 0.010 0 0 変化量 −0.010 −0.010 +0.010 +0.010 反応後 0.015 0 0.010 0.010（単位：mol） 硫酸 0.015 mol の質量は， 0.015 mol×98 g/mol＝1.47 g≒1.5 g	H_2SO_4 + Zn ⟶ $ZnSO_4$ + H_2 反応前 0.024 0.010 0 0 変化量 −0.010 −0.010 +0.010 +0.010 反応後 0.014 0 0.010 0.010（単位：mol） 硫酸 0.014 mol の質量は， 0.014 mol×98 g/mol≒1.4 g
23	25節の３の解法(5)	強塩基の $Ca(OH_2)$から生じる。	強塩基の $Ca(OH)_2$から生じる。
26	28節の４の解法Mg	・Mg は熱と反応する。	・Mg は熱水と反応する。